※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１４

令和８年度　学校設定教科　教養

教科	（学）教養	科目	（学）高大連携	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	学校独自プリント 等						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、大学進学に向けて自身の適性や目的を整理し、ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽなどを通して、よりよい進路選択ができるよう実践力を身に着ける。
多様化が進む現代社会の中で、様々な価値観を知り、社会課題を解決するために自分に何ができるかといった答えのない問題に取り組んでいきます。
また、大学進学に必要な基礎知識の定着と、論理的思考と表現を身に付けてもらいます。

2　学習の到達目標

・基礎学力を定着させる。
・自らの学力について分析し、苦手分野の理解を深めるとともに、知識を活用して思考する問いを学ぶことで、深い学びへとつなげる。
・自身の興味・関心の方向を知り、進路選択を具体化する。
・学習方法を身に付ける。
・学習を通して、自分自身の進路について考察し、将来設計をする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・専門分野についての技術や社会課題についての知識を身に付ける。 ・大学進学に向け、各分野の研究内容について理解を深める。 ・基礎学力の定着 ・論理的思考と表現技術を身に付ける。	・社会課題について、専門知識を用いて解決する方法を提案できる。 ・自身の進路について考え、他者に伝えることができる。 ・数理的処理や、グラフなどの表現ができる。 ・自身の考えを論理的に表現できる。	・科学技術や社会課題に対して興味、関心があり、自ら主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。 ・大学進学に向け、オープンキャンパスに参加したり、HPを活用し、大学の情報を主体的に集めることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、文章で評価を記述する。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎学力の充実	国語・数学・英語の３教科の学習内容について、単元テスト等の結果から苦手分野や学ぶべき内容を抽出し、個別最適化学習を行う。学習を通して、振り返りを行い、自身の将来設計について 考える	a. 学力の定着のための学びの手法を体得する。自身の将来設計の意義を理解する。 b. 基礎的な知識を活用して思考する問や活動において思考・判断し、表現できる。 c. 主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進められることができる。自身の将来設計について積極的に考察している。	小テスト レポート 確認テスト	レポート 確認テスト	グループ活動 振り返りシート
2学期	大学研究	理工系大学の場所や設置学科、施設や研究内容、そして入試方法の理解を深め、自身の希望大学について考える。また個別最適化学習によって学習法の改善をしていく中で、自身の将来設計について考察を深める。	a: 大学進学に向け、各分野の研究内容について理解する b: グループ活動を通して、自身の将来設計を深める。また自身の進路について考え、他者に伝えることができる。 c: 大学進学に向け、オープンキャンパスに積極的に参加し、HP を活用し、大学の情報を主体的に集めることができる。	レポート 確認テスト	レポート 確認テスト アウトプット活動	アウトプット活動 グループ活動 振り返りシート
3学期	進路研究	大学受験スケジュールの確認や、翌年度の目標設定を行う。また個別最適化学習によって学習法の改善をしていく中で、自分の実力を知り、将来設計について考察を深める。	a: 論理的思考と表現技術を身に付ける。 b: 自身の考えを論理的に表現できる。 c: 科学技術や社会課題に対して興味･関心があり、自ら主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。	確認テスト	確認テスト アウトプット活動 作文	アウトプット活動 作文 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度